

# 悩みがちな看護記録のイノベーション 経過記録法F-SOAIPのご紹介

エフソ・アイピー

IPW(多職種連携)や医療DX推進下で、  
多職種で共用でき、データ利活用できる経過記録法が不可欠です。  
しかし、看護記録では、次のような困り事ありませんか？

- ▼ 医療機関によってSOAPかF-DARか異なり、異動時に困る
  - ▼ SOAPの場合、経時的経過記録と混在し、使い分けに困る
  - ▼ SOAPの場合、事前に設定した看護問題以外が記録しづらい
    - ▼ SOAPの場合、看護介入を記載しにくい  
(看護介入の記載が、O、A、Pのどれかに混在してしまう)
  - ▼ F-DARの場合、アセスメントやプランを記載する項目がない
- ◎ F-SOAIPは、看護過程を網羅した項目が設定されています。  
◎形式上SOAPとF-DARを折衷しているため、  
SOAPやF-DARからの転換も容易です。

★既に、富士通の電子カルテ・看護記録システムへのF-SOAIP搭載例がございます。  
◎経時的にも記載できます。

名称:看護記録のあり方研究会

主催: F-SOAIP実践・教育研究所 <https://seikatsu.care>

代表 鳶末憲子(埼玉県立大学、看護師・介護福祉士)

副代表 小嶋章吾(国際医療福祉大学大学院、社会福祉士)

日時:2025年2月26日(水) 17:00~18:30

方法:オンライン(ZOOM) <https://zoom.us/j/91354560051>

ミーティング ID: 913 5456 0051 パスコード: nurse0226

プログラム:① F-SOAIPのご紹介 ②質疑応答・意見交換

お申込み方法:<http://seikatsu.care>の「お問い合わせ」より

お申込み〆切:前日中まで

お問い合わせ:[s-kojima@iuhw.ac.jp](mailto:s-kojima@iuhw.ac.jp) 小嶋章吾

★お願い:関係者のみなさまへの周知をお願い致します。

参考文献:『エキスパートナース』2025年2月号(特集記事)

(執筆:国立甲府病院・国立新潟西中央病院・都立墨東病院・総合新川橋病院 看護部長)

『看護管理』2021年10月号、『ナーシングビジネス』2023年10・12月号